



看護学科

山田 牧子 助教

【研究分野】
【キーワード】
【U R L】苦悩に向き合うケアの現場での「こころ」のケアと倫理
スピリチュアルケア、利他的価値、サーバントリーダー、意思決定支援
<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=313yamada>

心のケアを担う支援者の在り方についての研究

研究概要

苦悩にある人を支える関係において、ともに考えることができるフラットな関係を作り出すリーダーシップに、利他的価値や奉仕（サーバント）という考え方がある。そのよう資質を持ったなリーダーはコミュニティを作り出し、地域社会に影響を与えているとされている。そのようなマインドや行動がどのように生成されていくのか、東日本大震災で心のケアを継続して行っている宗教者からのインタビューをから検証する包括的研究を行っている。他者を思いやる思考やそのような行動に影響を与える個人的、状況的な要因について、分析し明らかにすることを試みている。

研究紹介

1. 東日本大震災で心のケアを行う宗教者の倫理的アイデンティティの形成について
東日本大震災の被災地でこころのケアを継続して行う宗教者のケアラーとしての倫理的アイデンティティ形成のプロセスについての研究。
2. 不登校の子供たちのスピリチュアリティとリカバリー

講座テーマ紹介

- ・ 意思決定への力の共有について
- ・ コミュニティを築くこと
- ・ 学校に行けない子ども・家族の気持ち～不登校支援を考えるワークショップ～

アピールポイントなど

病院・施設・在宅・地域（災害ボランティア・不登校支援）での看護の経験のなかから、心のケア実践者の在り方について探求してきました。愛情と思いやりのあるケア提供者にはどのような姿勢が必要なのか、現場の方と一緒に考えていけたらと思っています。